

サポート

No. 160

平成31年3月25日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

祝 卒業 ～それぞれの旅立ち～

平成31年3月、県内の各特別支援学校において平成最後の卒業式が行われました。それぞれの学校で心をこめて卒業をお祝いし、卒業生を送り出しました。今回は、その中から県立比内支援学校、県立聴覚支援学校、県立大曲支援学校の卒業式の様子をお伝えします。

県立比内支援学校

教諭 佐藤浩子

まだ雪が残る比内の地で3月8日（金）、御来賓42名をお迎えし、小学部6名、中学部7名、高等部18名、計31名の卒業式が行われました。

厳粛な中にも和やかさが感じられる式において、一人一人が新しい旅立ちに一步踏み出す強い意志と意気込みを胸に、しっかりと卒業証書を受け取る姿が見られました。

佐藤正好校長は式辞で、「本年度の学校のテーマは『絆』。平成最後の年、新しい学び舎に、黙々と精一杯頑張ることのできる力をつなぐことができた。今後学校で身に付けた力を自信に、思い切って自立に向かい、巣立ってほしい。」と、力強い激励の言葉を贈られました。

続いて、卒業生と在校生が向かい合い行われた「呼びかけと歌」で、卒業生は「地域の方に支えられながら、地域で本物を学び、自分自身を成長させることができた」と述べ、在校生は「皆さんの後を受け継いで、明るく楽しい学校にしていく」と誓いました。

卒業式後、PTA主催の「卒業を祝う会」が催され、卒業生全員で舞う「よさこい・絆・舞桜」は胸に迫るものがあり、比内の心意気が、来し方行く末引き継がれていくことを確信しました。



校長式辞



卒業生退場

県立聴覚支援学校

教頭 松井 智子

3月7日（木）、14日（木）に、聴覚支援学校の卒業式、幼稚部修了式を行いました。一人一人に塚本宏明校長から卒業・修了証書が手渡され、幼稚部6名、中学部3名、高等部3名が学び舎を巣立って行きました。

校長式辞では、何度倒しても起き上がる「起き上がり小坊師」のおもりを紹介。「卒業生の心にある起き上がるための大切なおもりは、同じ気持ちで、同じ経験をできる仲間や先生がいるからつかむことのできた力。大切なおもりを考え学び作り出す道を、これからも焦らずじっくり探っていこう。」と激励しました。

「お別れのことば」では、在校生から卒業生一人一人へメッセージが伝えられると、卒業生からは、学校生活で学んだことや節目を迎える決意、感謝の気持ちが自信に満ちた表情で堂々と語られました。「自分の決めた道を真っ直ぐに進んでいきます。」卒業生の力強い言葉が響き渡りました。そして、心をこめて「巣立ちの歌」を歌うと会場は感激と感動に包まれ、卒業生は希望を抱いて新たな一歩を踏み出しました。



校長式辞



お別れのことば

県立大曲支援学校

教頭 阿部純一

青空が広がる穏やかな日差しの中、3月6日（水）、来賓68名をお迎えして卒業式が行われました。小学部11名、中学部12名、高等部19名の卒業生が中野洋一校長から卒業証書を授与されました。校長は、式辞でお祝いの言葉に添えながら、「本当の友達とは、楽しいことばかりを共にするのではなく、苦しいときに力になってくれる人が友達です。大人になってもそれは変わりません。」「幸せは待っているのではなく、幸せを感じてください。幸せを感じられる心をもつ人になってほしいと思います。」と、分かりやすい言葉で卒業生に語りかけました。

その後のよびかけ「よろこびのうた」では、たくさんの思い出や自分たちの頑張りが表現されました。歌「旅立ちの日に」や校歌を、児童生徒、職員が心を一つにあわせて歌い、式を閉じました。

門出では、本校伝統の夢花火が雪の残る校庭で打ち上げられました。卒業学年の学級目標や願いを書いた旗が花火と共に青空を舞う様子に大歓声上がり、門出を祝う春の日にまたひとつ、思い出が加えられました。花火の余韻に浸りながら在校生から受け取った花束を胸に、一緒に学んできた友達や後輩とカメラにおさまり、別れを惜しみながら42名の卒業生が学舎を巣立って行きました。



証書授与



校長式辞

視覚支援学校高等部専攻科実技講習会

教諭 下地利秀

秋田県立視覚支援学校の高等部専攻科保健理療科・理療科では、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう（以下、理療とする）の技術力向上を目的に、毎年、2月後半に実技講習会を実施しています。この実技講習会は、地域で活躍している理療師の方々に理療に関する講義と実技指導をしていただくことによって、施術法や理療の考え方を生徒と理療科職員が共に学ぶ良い機会となっています。

今年度は、秋田市内で矢留鍼灸院を経営している齊藤隆先生を講師にお招きし、「肩こりの施術の仕方」というテーマで実技講習会を開催しました。講習会では「痛くないところから治療をはじめる」ということが東洋医学的な治療法の考え方であることをお話しされ、先生自らが直接生徒の手を取って肩甲骨の施術法を教えてくださいました。また、「施術者の心が楽しければ、患者も楽になる」といった理療師としての心構えもご指導いただき、生徒も職員も熱心に取り組む姿が見られました。施術時の手の形を教わる生徒や施術部位を質問する職員の表情は真剣で、会場には心地よい緊張感が漂っていました。これから、理療師として歩み始める生徒にとっても、理療教育に携わる職員にとっても新たな発見がある充実した講習会になりました。



【手の形を教わる生徒】



【治療部位の解説】

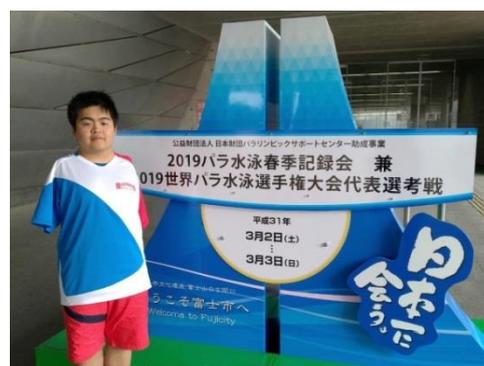


2019 パラ水泳春季記録会兼 2019 世界パラ水泳選手権大会 代表選考戦で見事日本新記録！！

秋田きらり支援学校高等部2年 菅原紘汰さん

平成31年3月2日～3日、静岡県富士水泳場で行われた、パラ水泳春季大会で、秋田きらり支援学校高等部2年 菅原紘汰さんが男子50mバタフライと50m背泳ぎの両種目で、日本新を記録しました。この記録に菅原さんは「日々の練習の成果が結果として出たので、あきらめずにやってきて良かったと思います。」と力強く答えてくれました。

また、今後について「更なる高みを目指して、自己ベストや日本新記録の更新を目標にしていきたいです。」とコメントし、早くも次の目標に向け、気持ちを新たにしている様子でした。



静岡県富士水泳場にて